

<http://v3.espacenet.com/publicationDetails/biblio?adjacent=true&KC=A&date=19880309&...> 4/1/2009

⑫ 公開特許公報 (A) 昭63-54884

⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)3月9日

H 04 N 5/44
G 11 B 15/02

3 4 6

D-6957-5C
Z-8022-5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 番組予約装置

⑮ 特 願 昭61-199717

⑯ 出 願 昭61(1986)8月25日

⑰ 発 明 者 中 島 義 郎 京都府長岡京市馬場岡所1番地 三菱電機株式会社電子商

品開発研究所内

⑱ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑲ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

番組予約装置

2. 特許請求の範囲

(1) 装置本体に接続されたテレビジョン受像機の画面に、少なくともチャンネル番号種と時刻種とからなるマトリックス状の着色選択領域を映出させるためのマトリックス状領域発生用のメモリと、上記マトリックス状の各領域にそれぞれ対応して設けられて番組予約情報が書き込まれた番組予約情報記憶用メモリと、上記着色選択領域のうちの所望領域が指定された際、この領域を着色表示させるとともに、この着色領域に対応するメモリの内容を読み出させる制御手段とを具備したことを特徴とする番組予約装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、たとえば録画再生装置(以下、V T Rと称す)等のオーディオ・ビジュアル機器に適用される番組予約装置に関するものである。

〔従来の技術〕

第4図は、たとえば三菱電機株式会社製のV T Rの取扱説明書に示された従来のこの種装置による表示画面表示例を示す図、第5図は同装置に使用されるリモートコントロール装置の平面図である。第4図において、(101)はテレビジョン受像機の画面、(102)は画面表示された文字等のうちの予約番号表示、(108)はチャンネル表示、(104)は曜日表示、(105)は録画開始時刻表示、(106)は録画終了時刻表示である。第5図において、(107)はリモートコントロール装置、(108)は予約画面表示ボタン、(109)は予約番号ボタン、(110)は選択ボタン、(111)は合せボタン、(112a)、(112b)は録画予約入/切ボタンである。

次に動作について説明する。

リモートコントロール装置(107)の予約画面表示ボタン(108)を押すと、第4図に示すようにV T Rに接続されたテレビジョン受像機の画面(101)に文字等が表示される。すでに予約済みの予約番号の行はチャンネル番号、曜日、録画開始時刻および

録面終了時刻が特定されているが、まだ未予約の予約番号の行は「ー」(横線)表示がされている。

このような状態で、まず、リモートコントロール装置(107)の予約番号ボタン(109)を押して、予約番号表示(102)の表示の点滅している番号をこれから予約したい予約番号にあわせる。第4図の例のようにまだ予約されないで空いている予約番号「5番」にもつてきててもよいし、すでに予約済みの予約番号でもその内容を変更したい場合は、たとえば予約番号「1番」を点滅させるように予約番号ボタン(109)を押す。次に選択ボタン(110)を押すと、希望する予約番号の点滅はとまり、表示の点滅は右どりの希望する予約番号の行のチャンネル番号(108)に移る。そこで合せボタン(111)を押すと、チャンネル番号が1つずつ変っていくから、希望するチャンネル番号になったとき合せボタン(111)を押すのを止める。

次に選択ボタン(110)を押すと、表示の点滅は右どりの希望する予約番号の行の曜日表示(104)に移る。そこで、合せボタン(111)を押すと、まず、

を繰り返す。このように設定しておくことにより現在時刻と設定時刻の比較をおこなってその設定時刻になれば、その設定チャンネルの番組の録画や録音が始まる。

【発明が解決しようとする問題点】

従来の番組予約装置は以上のように構成されているので、予約番号、チャンネル番号、曜日、録画開始時刻、録画終了時刻をそれぞれ順番に設定してゆかねばならない手順のわずらわしさや誤設定のおそれがあり、煩れない人には扱い難いという問題点があった。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、複雑な操作手順を省くことなく簡単に録画予約できる番組予約装置を得ることを目的とする。

【問題点を解決するための手段】

この発明に係る番組予約装置は、装置本体に接続されたテレビジョン受像機の画面に、少なくともチャンネル番号種と時刻種とからなるマトリクス状の着色選択領域を映出させるためのマトリ

クス状のマトリクス状の各領域ごとに対応して設けられて番組予約情報が書き込まれたメモリと、上記着色選択領域のうちの所望領域が指定された際、この領域を着色表示させるとともに、この着色領域に対応するメモリ内容を読み出させる制御手段とを設けたものである。

もし複数番組予約したいときは、予約番号ボタン(109)、選択ボタン(110)合せボタン(111)の操作

【作用】

この発明においては、マトリクス状の着色選択領域のうちから番組予約したい領域をライトペンやカーソルで指示すれば、その領域が着色して予約したことが一目でわかるうえ、着色領域に対応するメモリから番組予約情報が自動的に読み出されるため、番組予約のための操作が極めて簡単なものとなる。

【発明の実施例】

以下、この発明の実施例を図面に示したがつて説明する。

第1図はこの発明に係る番組予約装置の一例を示す全体図である。同図において、(1)はVTRの

ような装置本体、(2)は装置本体(1)に接続されたテレビジョン受像機、(3)は装置本体(1)に設けられたリモートコントロール装置(107)の収納口である。

第2図は同装置の要部のブロック図である。同図において、(4)はクロック信号発生回路、(5)は同期信号発生回路、(6)は後述するマトリックス状の着色選択領域を発生する読み出し専用メモリ(以下、ROMと称する)、(7)は上記マトリックス状の各領域に対応する番組予約情報が書き込まれたメモリ(以下、RAMと称する)、(8)はメモリ制御回路、(9)は上記メモリ(7)に接続されたメモリ内容読み出しバッファ、(10)は上記バッファ(9)に接続された色信号発生回路、(11)は上記メモリ(6)および色信号発生回路(10)に接続された合成回路である。(12)はマイクロコンピュータのような制御装置であり、メモリ内容の読み込み、解読、録画開始および終了等の制御信号を出力するものである。また、(13)はチャンネル番号選択キー、(14)はメモリーキー、(15)は時刻枠選択キーであり、それぞれメモリ制御回路(8)に接続されている。

表を見ながら予約録画を希望する番組のチャンネル番号およびその放送時間を読みとり、たとえばチャンネル番号「4」の6時00分から6時30分までの時間帯を予約したい場合、チャンネル番号枠選択キー(13)を操作してカーソル(150a)をチャンネル番号「4」の列まで移動させる。次に同様に時刻枠選択キー(15)を操作してカーソル(150a)を縦方向に15分の枠毎に1つずつ移動させてゆき、まず6時00分から6時15分の枠内まで至れば移動を止め、メモリーキー(14)を押すことにより、この点滅が止まり赤色となる。次に時刻枠選択キー(15)を押すと、赤色の点滅するカーソル(150a)は6時15分から6時30分の枠内に移動するので、ここでまたメモリーキー(14)を押すことによりこの点滅がとまり、第2図(150c)に示すようにチャンネル番号「4」の6時00分から6時30分までの領域(150c)が赤色になり、番組予約が完了する。

ところで、ここまでの操作であれば、画面(101)上では番組が予約されているが、まだ機器の制御装置として動作しない。ところが、上記マトリッ

上記テレビジョン受像機(2)の画面(101)には、上記ROM(6)により、第3図に示すように横軸方向のチャンネル番号枠、すなわちプリセット可能なチャンネル数と同数の1～12までのチャンネル番号枠(15a)と縦軸方向の時刻枠、たとえば毎整時毎の枠(15b)とからなるマトリックス状の着色選択領域(15)が映出されるようになってい。この例では毎整時の枠(15b)はさらに15分毎の枠(150b)に細分割されている。

つぎに、上記構成の動作について説明する。

たとえば、リモートコントロール装置(107)の予約画面表示ボタン(108)を押すと、テレビジョン受像機(2)の画面(101)には第3図のようなマトリックス状の着色選択領域(15)が表示される。

上記画面(101)の初期状態においては、最小単位枠内のたとえばチャンネル「1」あきの5時00分から6時15分までの領域(150a)が、たとえば赤色になっており、かつ点滅している。これがカーソルの役目を果たす。このように作られた画面(101)上で、新聞や雑誌等のテレビ・ラジオ番組

クスの各領域(15)に対応してRAM(7)が設けられているため、上記メモリーキー(14)を押すごとに、赤色に固定された領域(150c)に対応するメモリ(7)が、たとえば論理レベル“H”となる。すなわち、この“H”レベルになっているメモリ(7)の情報が何時何分から何時何分までであるかは、対応するROM(リードオンリーメモリー：読み出し専用メモリ)(6)のテーブルを用意しておき、それを参照することによって読み出すことができる。

なお、上記実施例では、着色選択領域(15)の位置指定をするのに画面(101)をカーソル(150a)を上、下、左、右方向へ移動させて指定するものを示したが、カーソルの代りにライトペンによつて位置指定するようになれば、さらに操作を簡便化できる。

また、この実施例では全チャンネル番号と朝から晩までの番組がすべて一枚のテレビ画面(101)に表示されるようにしたものであるが、たとえば朝、昼、夜と分けて映出させるようにしてもよい。

また、上記の例では、曜日、1週目、2週目、

特開昭63-54884(5)

手続補正書(自発)

62 5 9

昭和 年 月 日

特許庁長官殿

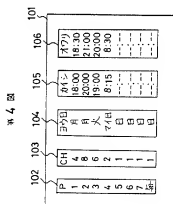
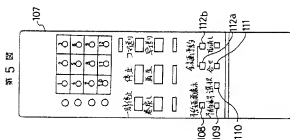
1. 事件の表示 特願昭61-199717号

2. 発明の名称
番組予約装置

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
名 称 (601) 三菱電機株式会社
代表者 片 岡 守 哉

4. 代 理 人
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
三菱電機株式会社内
氏 名 (7375) 弁理士 大 岩 増 雄
(連絡先03(213)3421特許部)



5. 補正の対象
明細書の「発明の詳細な説明」の欄
6. 補正の内容
(1) 明細書をつぎのとおり訂正する。

ページ	行	訂 正 前	訂 正 後
8	4	と同数の1～12までの	と同数の、たとえば 1～12までの
			(以 上)